

活動支援（ホップ）部門採択事業報告

事業名	お年寄りに安心なまちづくりとアート展	
実施団体名	特定非営利活動法人 サポートフレッシュ	
事業の目的	まだまだ人の役に立ちたいという気持ちのある高齢者と行政の取組を結ぶ仲立ちをする。今回は高齢者の徘徊とそれによる事故防止を中心テーマとする。また地域交流のまちづくりアート展をする事により近隣の方との情報交換になる。	
補助金額	94,000 円	
事業の概略	○蓄光シール配布 8月1日より北名古屋市高齢福祉課窓口にて高齢者の方の交通安全のために、もしもの時のお助けシールを広報などで呼びかけて配布した。 ○まちづくりアート展 3月1日～3日まで名古屋芸術大学にて北名古屋市のまちを市民の方に知っていただくために段ボールで楽しく作製した。	
事業の 効果・成果	○蓄光くつシールの配布により高齢福祉課の窓口で基本チェックシートを書いていただく事ができ交通安全の意識も高まったように思います。 ○まちづくりアート展の制作ではみんな輪になって私たちのまち北名古屋を作る事ができた。	
実施しての 問題点	まちづくりアート展の制作の日程を決めるのが遅かったので、これからはもう少し余裕を持って取り組みたいと思いました。	
課題・今後の 展望	蓄光くつシール（もしもの時のお助けシール）はこれからも広く広めていくためアイシンググループ様より助成をいただき、広い範囲で活動していきます。	
審査員評価	○高齢者の徘徊予防とまちづくりアートという組み合わせの注目点。 ○地域資源である名芸大の巻き込み。 ○助成団体・マスコミを活かしている。 ○他団体を巻き込みスケールアップしたところがアート展としてよい。	
ア ド バ イ ス・期待する点	○芸大の学生さんに企画から関わってもらい、様々なアイデアを募り、実行して継続していった。（若い世代の高齢者理解と交流の一助） ○蓄光シールに費用がかかるが、別のアイデアはないか。 ○蓄光くつシールをもっと多く配布できるといい。 ○様々な着想が浮かび次々に手を着けているが、全体としてのデザインが伝わってこない。どこで誰から支援が得られるのか、どうしたら支援が受けられるのかを考えて手を着けないと続かない。	